



第二回育友会役員会が開催されました！

今回の育友会では防災に関する情報等について共有しました。私たちの住んでいる各自治体で実際に災害時に避難する場所はどこなのか、浸水や土砂災害が起こる地域はどこなのかなど意外と知らないことが多いのも事実です。家族の命を守るために自分が住んでいる自治体の防災情報をお互いに確認してみたいはかがででしょうか。今回は新宮市防災情報の一部を紹介します。



参考に新宮市津波から逃げるためのポイント 津波ハザードマップ抜粋を以下に掲載します！

- ① **市では震度7を想定**（地震の揺れによって家が倒れてしまったり、家具などが倒れることも考えられます。耐震化や家具の固定など地震の揺れに対してできることから備えましょう）
- ② **想定にとらわれない**（ハザードマップは安全を保証するものではありません。想定はシナリオの一つであり、想定通りの津波がくるとは限らないことを理解するのが第一歩です）**新宮市浸水域マップで想定と異なる2つの浸水域を確認してください。**
- ③ **率先して避難する**（いざという時はあなたが率先して行動することでその姿を見た周辺の人も避難するようになり、結果多くの人の命を救うこととなります。）
- ④ **避難をあきらめない**（避難をあきらめたり避難しないことであなたを心配する人が避難をためらったり助けに來たりして被害にあってしまうかもしれません。**新宮市浸水深マップで避難先をかんがえよう。**）
- ⑤ **避難することを習慣に**（避難することを習慣とすることが家庭でできる津波防災教育の一つです。）
- ⑥ **命を守るために最善をつくす**（避難する場所は市の指定避難所でなくてもかまいません。命を守ることが重要です。**新宮市津波到達時間マップで逃げ時を考えましょう。**）

新宮市ハザードマップでインターネットを検索すると上記意外にもたくさんの情報がでてきます。

その他にも地域の防災訓練等に参加し、支援学校の児童生徒のことを知っていただくことが大切です。その中で中学部の敷地さんが地域の避難訓練に参加された経験があるので、その時の様子を原稿にしてくれました。とても印象深い文章になっています。みなさんぜひ参考にしてください。

私が居住地区の避難訓練に参加しようと思ったきっかけは、息子に避難場所と経路を一緒に歩くことで伝えたい、そして、近所の皆さんに息子のことを知っていただきたい、という思いからでした。実際、訓練に参加してみると息子はご年配の方々のペースに合わせて歩いており、それを見ていたおじいちゃんおばあちゃんが「先にいけよ～」とやさしく声をかけてくれました。周り合わせなくてもいい時なんだと教えてもらったことで、そこからは安心して自分のペースで歩きだしました。学校で積み重ねた「お（さない）、は（しらない）、し（やべらない）、も（どらない）」が身につけている姿が頼もしかったです。夜間の避難訓練に参加した時は、ライトが点いていても階段が少し怖いこと、朝の訓練ではつまづかない場所でこけたことなど状況が変わって初めて気がつくポイントも出てきました。今度は、雨の日の体験もしてみたいです。実際に参加することで見えることも多いので、ぜひチャレンジしてみてください。地域の方々とお知り合いになる機会にもなったらうれしいですね。



中学部敷地さん原稿ありがとうございます。参加しないと分からないことがたくさんあるんですね。とても勉強になりました！
11月1日（金）10時～11時30分まで育友会肢体学級の施設見学会で多機能事業所かのんを見学します。興味のある方は本校教員望月までお知らせください。

防災研修部副部長
敷地 美圭

